

一人ひとりの夢・思いを大切に

福祉 しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 永田 元
 発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
 電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org

品川区福祉保健従事者実践・研究発表会



中延特別養護老人ホーム

令和3年度 最優秀賞受賞

らうんじ

八潮南特別養護老人ホームは八潮南中学校の跡地を利用するという、画期的な計画で誕生いたしました。当時は東日本震災と言った未曾有の災害が起きた年だったので、大きな不安と希望を抱えたまま開所を迎えたことを、今でも鮮明に覚えていきます。その中で私は、グループホーム八潮南に開所から六年ほど働かせていただきました。認知症の利用者の方と一緒に『利用者本位』を実践し、ご飯を作ったり買い物をしたりと充実した毎日を送り、不安を感じることなく過ごす事ができました。

そんな八潮南も開所からあつという間に十一年の歳月が経とうとしています。そして四年後の令和八年には増改築も終わり、新たに大きな拠点として幕を開ける予定です。今よりも利用者さんの数も増え、職員の数も増えていくと思います。たくさんの方々には、質の高いサービスと笑顔届けられる、そんな施設を目指して職員一丸となって築き上げていきたいと思えます。

八潮南特別養護老人ホーム

グループホーム八潮南

副施設長 滝澤秀明

令和三年度 事業報告

品川総合福祉センター

中期経営計画最終年にあたり各重点課題に取り組みました。収支改善では事業所単位で収支計画進行管理に取り組み、法人全体で業務委託費などコスト削減の検討等を行い、超過勤務削減では一定の成果が得られました。

人権課題では「不適切ケア職員アンケート」の全職員へのフィードバックを進め、そこからの意見を基に施設単位の課題抽出、改善計画実施と具体的な取り組みに繋げております。

人材確保、育成では働き方改革基本方針を試し、働きやすい職場作りの実践について情報共有し職員の意識向上に努めました。

その他品川区立八潮北保育園の運営受託準備や八潮南特養のICT導入等を進めました。

新型コロナウイルス感染拡大期には

入所施設で集団感染が発生し、多くの利用者、職員が罹患する事態となりました。しかし、医療機関、関係所管のご協力により重篤化は防ぐことができました。この教訓を今後の感染症対策に活かしていきま

す。

コロナ禍では、ご利用者様の生活に大きく制限をかける結果となりましたが、各部署で様々な工夫をこらし生活の質の維持に努めました。

かえで荘

令和三年度を振り返ると、コロナに始まりコロナに終わつたように感じます。

職員は、予防のため一年間、毎週PCR検査を受け、日常生活においても、感染に気を

つけ、面会・外出等を制限し、利用者



「これを食べないと夏が始まらないわあ〜」

共に制約のある暮らしをしてきました。しかし、残念ながら、年度末にフロアーを縦断するクラスターに発展してしまいました。決して良い経験とは言えませんが、このことを通じて、チーム（職員）の底力と感染対応の奥義を学ばせて頂きました。

八潮南特別養護老人ホーム

令和三年度は、稼働率の向上、感染予防、ICTの導入を重点的に取り組みました。

ベッド稼働を向上させるため、七月よりショートステイ定員を減らし、特養定員を増やしました。感染対応では、八月から九月と、二月に集団感染が発生しましたが、職員等が一丸となって対応し、一か月程度で収束しました。

ICTの導入では、プロジェクトチームを立ち上げ、見守りシステムの導入と記録システムを切り替え、一つのスマホで通知を確認したり、記録を入れたりすることができるようになりました。

中延特別養護老人ホーム

感染症の影響により、利用者の活動も制限される事が多い一年でした。せめて日常生活の場面では、『利用者一人ひとりの望む生活』が送れるよう、起床時間や入浴日（時間と回数）、日々のおしやれの楽しさ、食べる喜び等、出来る限り利用者に合わせてケアを行いました。



コロナ禍でも、脳トレ、楽しんでます（中延SC）

施設では忘れがちになる、当たり前の生活を送って頂くことができました。

（本年度のケアの実践について「品川福祉保健従事者実践・研究発表会」で二度目の最優秀賞を獲得しました。表紙写真参照）

八潮南グループホーム

令和三年度も感染症の流行の中で「共に生活する」ことを意識した活動が思うようにできませんでしたが、日常生活を継続できるように支援しました。

また、外出を自粛しなければならぬ状況の中で、筋力低下防止のため室内でできる体操やプロジェクトを使つて映画鑑賞をしたり、季節の行事や誕生日会等室内で楽しめることを実施しました。

ICTの導入については、特養と共にプロジェクトチームを作つて進め、業務改善に向けて取り組みました。

中延在宅サービスセンター

楽しみや目的を持つて通所して頂けるよう、一人ひとりに合わせたサービスの提供を行うことで、多くの方に利用いただくことができました。

年間行事では、感染症対策により行動の制限もありましたが、季節感のあるイベント的活動を多く盛り込み、利用

者の皆様の希望も伺いながら企画しました。

今年もたくさんの方の笑顔を見せて頂くことが出来ました。事業所の活動の様子はフェイスブックで発信しています。

八潮在宅サービスセンター

令和二年度に引き続き感染防止対策を徹底し、新たな取り組みとして運動マシンによる筋力トレーニングを試行し、利用者の方からは好評いただいています。介護予防事業の「マシンでトレーニング」には、理学療法士を配置して希望者が多く、皆さん積極的に参加されていきました。



しょうぶ湯
楽しみました！

大井在宅サービスセンター

令和三年四月から趣味活動中心のプログラムから転倒予

防に特化した新しいプログラムに本格的に移行しました。



「転倒予防エクササイズ」の一コマです

ご自宅から出かけられない方が増えているため、身体機能の低下が顕著である中で必要な「介護予防」というテーマを追求し、「転倒予防エクササイズ」を、日中活動の中心として実施しました。

また、新たに理学療法士を採用したことにより、本人や家族の必要に応えた個別のリハビリプログラムを開始し、きめ細やかな対応に努め、好評をいただきました。

高齢者在宅介護支援センター

感染症拡大の中、高齢者が安心して生活できる地域づくり等の活動は、大きな制限がありほとんど実施ができませんでしたが、認知症サポーター養成講座を初めてインターネッ

トを使つてのリモートで行うなどの新たな取り組みを行いました。

また、五月の災害対策基本法の改正にともない、非常時の体制についてモデルケース（大井、八潮）として、町会および自治会との災害時の要援護者への対応や、ケアマネジメント業務継続のための計画を立てました。

障害者計画相談支援事業所

中延、大井第二に続き、令和四年十月に八潮在宅サービスセンター内に、法人内三カ所目の障害者計画相談支援事業所を開設しました。

拠点相談支援事業所からの移行と新規受け入れを進めました。今後も乳幼児期から高齢期まで、障害福祉サービスを利用される障害者の方やご家族の思いを大切に、旗の台障害児者相談支援センターを含めた四事業所の相談員が連携しながら学び合える環境を構築し、相談技術の向上を目指していきます。

かもめ園（知的）

心身状況の重度化に伴い療養型施設へ入所変更される利用者が多くいらつしやいました。コロナ禍で外出する機会が減少したため、園庭を活用し少人数でバーベキューを実施し、創作活動で藍染めを行い家族へプレゼントする企画を実施しました。

年度後半より利用者の保安を強化し、事故等の要因分析のために防犯カメラを設置しました。三月上旬に感染症が施設内でまん延し、東京都の感染予防対策チームや訪問医療機関の協力を得て、短期間で収束することが出来ました。



ベストフードさんの協力でそば打ち体験をしました

かもめ園（身体）

令和三年四月五月、令和四年三月に新型コロナウイルス感染症に職員が罹患することがありましたが、利用者に感染することなく経過しました。



窓越しで感染症対策をして園芸サークルを実施！

引き続き、外出、外泊、面会について制限を設け、利用者やご家族にも協力要請をいたしました。

環境整備面では、食堂内でより快適に過ごせるよう大型テレビを購入しました。

コロナ禍で制限がある生活の中、旅行会社とコンタクトを取り、オンラインツアーで旅行気分を体感する企画を実施し、利用者から好評の声が上がりました。

さつき

令和三年度は新規の利用者はいませんでした。令和四年には久しぶりに特別支援学校卒業の方が入所されます。安定した仕事の提供や、工賃の向上にも取り組みました。

継続してコロナ禍の中、感染予防には十分留意し今後も利用者お一人おひとりの障害をしつかり受け止め、皆様が安心して通所ができるよう努めて行きたいと思えます。作業だけではなく、旅行や外出の機会を復活させ、余暇支援

での利用者の皆さんの沢山の笑顔が見たいと思えます。



クリーニング済みのシーツを納品へ

福祉工場しながわ

福祉工場しながわでは三十六名の従業員が働いております。清掃・製パン・製陶事業を展開しており、引き続きコ

鮫洲なぎさの家

コロナ過において就労事情が厳しい中ではありましたが、昨年度の就労支援事業全体の収支としては黒字で終わっています。行事として感染症対策の徹底を施したうえで暑気払いや忘年会を事業所内でさやかに行いました。毎春秋に開催していた一泊旅行は断念。やりがいのある仕事を通して職員、従業員共に元気に頑張っております。

令和三年度は入退去される方なく馴染みの顔ぶれで一年を過ごしております。感染状況を極めて一時帰宅を実施することができました。

感染防止のため、制限のある暮らしが続いていますが、休日には近隣の外食、テイクアウトやデリバリーを活用して潤いのある生活を少しでも提供できればと実施しました。鮫洲運動公園が一望できる環境なので、春にはベランダでお花見、夏にはバーベキューを楽しみました。

サ
ン
か
も
め

日中活動では、地域貢献に向けた地域清掃、利用者と共に準備を進めるカフェタイム等、楽しみながらの社会体験を進めました。

また土曜日の開所日を設定、ドライブと仕出し弁当で非日常的な一日を楽しみました。一方で、給食調理業務をベストフードサービス㈱に委託、温冷配膳車を導入、綿密な連携体制を整え、食事の質の向上を目指しました。



自分たちの生活の場の
周辺をきれいにしよう！

また玄関の開口部拡大の改修を目的に床の補修等環境整備を進めてきました。

心
身
障
害
者
福
祉
会
館

新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、事業

運営を進めました。その中で、障害者理解促進の啓発事業である「会館まつり」を通じて、地域の小学生向けに手話クイズのDVDを配布し、手話に触れ、会館を知ってもらう機会としました。

自立訓練事業では、令和三年度中に品川区と協議を進め、今年度で生活訓練事業を廃止し、令和四年度から機能訓練事業に統合し、定員を十二名に変更し、事業運営する事となりました。

今後も新たな事業の形も考えながら、事業運営を進めていきたいと思えます。

八
潮
中
央
保
育
園

年間を通して定員を満たした状態で運営しています。

四十年程の歴史のある園舎で過ごす最後の一年、令和四年度の大規模改修に向けて準備を進めてきました。子ども達は、八潮の恵まれた自然の中で存分に身体を動かし、のびのび遊びました。

感染症対策として、高性能



「これは何だ〜？」

空気清浄機、超音波式除菌加湿器の常時稼働やCO2濃度測定器を使用しての換気、手洗いの励行の強化を行い、感染症拡大防止に努めました。

大
井
三
丁
目
高
齢
者
憩
い
の
場

令和三年五月、六月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館になりました。

感染拡大防止に努めながら、園芸倶楽部、ピンコロ体操、地域ミニデイに加え新しく土曜日の枠で、専門職から学ぶミニ健康教室を実施しました。コロナ禍、相談する機会が減っている事もあり、参加者から喜ばれました。

健康増進の機会と生活活性化の場の提供ができ、介護予防拠点の役割を果たせました。

地
域
福
祉
課

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域交流事業は一部を除き中止となりました。例年通りの行事ができない中「心のつながり地域とともに二〇二二」の企画では、地域の皆さんと利用者のメッセージ交換を実施して繋がりを深めることができ、好評を得ました。

福祉教育では、中学生へのオンライン講座の実施や、青少年体験ボランティアの福祉体験プログラムでの受入れなど、コロナ禍でも障害者理解の促進を行いました。法人ホームページの管理規程やマニュアル等の整備を行う等、広報活動の改善に努めました。



ボランティア対象の講座
「終活」の知識を学びました（憩いの場）

令和3年度のご寄付

皆様から、ご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

五十音順敬称略

個人

穴澤 政子	佐々木 吉男	高安 絹枝	舟橋 厚子
在川 進	島崎 妙子	豊田 富美子	渡辺 童子
鎌形 信子	水野谷 育男	久川 憲四郎	

団体

イトヨーカドー労働組合大井町支部	(株)第一興商東京南支店	西中三親友会	八潮4号棟自治会
かもめ園家族会(知的)	特定非営利活動法人 暮らしのIT普及会	ブレデンシャル生命 品川第一支社	(有)ピーセス

貸借対照表

令和04年 03月 31日 現在

令和3年度 社会福祉法人品川総合福祉センター 法人事業合計

(単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,085,829,549	1,178,234,585	-92,405,036	流動負債	309,235,485	326,883,904	-17,648,419
現金預金	668,547,828	743,651,395	-75,103,567	事業未払金	160,426,604	172,048,038	-11,621,434
事業未収金	404,671,989	416,044,507	-11,372,518	<small>1年以内返済予定設備資金借入金</small>	10,010,000	10,010,000	
未収補助金		8,316,240	-8,316,240	<small>1年以内返済予定リース債務</small>	7,751,232	7,751,232	
商品・製品	2,561,636	2,580,876	-19,240	預り金	3,316,016	10,971,431	-7,655,415
原材料	1,890,450	1,925,847	-35,397	職員預り金	11,238,633	11,528,203	-289,570
立替金	241,601	583,104	-341,503	賞与引当金	116,493,000	114,575,000	1,918,000
前払金	2,074,757	1,388,340	686,417	固定負債	297,567,284	313,606,928	-16,039,644
前払費用	154,931	350,211	-195,280	設備資金借入金	78,410,000	88,420,000	-10,010,000
仮払金	9,713,062	8,484,100	1,228,962	リース債務	13,739,148	21,490,380	-7,751,232
徴収不能引当金	-4,026,705	-5,090,035	1,063,330	退職給付引当金	205,418,136	203,696,548	1,721,588
固定資産	1,605,346,455	1,598,090,827	7,255,628	負債の部合計	606,802,769	640,490,832	-33,688,063
(基本財産)	719,926,145	804,096,265	-84,170,120	純資産の部			
建物	718,926,145	803,096,265	-84,170,120	基本金	1,000,000	1,000,000	
定期預金	1,000,000	1,000,000		<small>国庫補助金等特別積立金</small>	535,732,788	532,534,240	3,198,548
(その他の固定資産)	885,420,310	793,994,562	91,425,748	その他の積立金	473,916,327	429,866,327	44,050,000
建物	2,428,205	2,838,604	-410,399	人件費積立金	39,350,000	42,000,000	-2,650,000
車輛運搬具	24,453,725	27,562,559	-3,108,834	修繕積立金	18,800,000	22,000,000	-3,200,000
器具及び備品	139,740,404	93,987,408	45,752,996	備品等購入積立金	29,520,000	29,520,000	
有形リース資産	21,490,380	29,241,612	-7,751,232	設備等整備積立金	4,620,000	4,620,000	
ソフトウェア	17,890,663	6,595,278	11,295,385	設備更新積立金	381,626,327	331,726,327	49,900,000
退職給付引当資産	205,418,136	203,696,548	1,721,588				
人件費積立資産	39,350,000	42,000,000	-2,650,000				
修繕積立資産	18,800,000	22,000,000	-3,200,000				
備品等購入積立資産	29,520,000	29,520,000					
設備等整備積立資産	4,620,000	4,620,000		<small>次期繰越活動増減差額</small>	1,073,724,120	1,172,434,013	-98,709,893
設備更新積立資産	381,626,327	331,726,327	49,900,000	<small>(うち当期活動増減差額)</small>	-54,659,893	-59,408,776	4,748,883
差入保証金	20,000	20,000		純資産の部合計	2,084,373,235	2,135,834,580	-51,461,345
長期前払費用	12,470	136,226	-123,756				
その他の固定資産	50,000	50,000					
資産の部合計	2,691,176,004	2,776,325,412	-85,149,408	負債及び純資産の部合計	2,691,176,004	2,776,325,412	-85,149,408

事業活動計算書

(自) 令和03年 04月 01日 (至) 令和04年 03月 31日

令3年度 社会福祉法人品川総合福祉センター 法人事業合計

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	1,811,619,789	1,826,119,099	-14,499,310
		保育事業収益	241,946,305	207,502,513	34,443,792
		就労支援事業収益	140,486,951	136,064,964	4,421,987
		障害福祉サービス等事業収益	1,219,512,612	1,194,501,496	25,011,116
		公益事業収益	41,863,001	46,592,738	-4,729,737
		経常経費寄附金収益	3,201,325	1,422,624	1,778,701
		その他の収益	3,695,972	1,026,440	2,669,532
	サービス活動収益計(1)	3,462,325,955	3,413,229,874	49,096,081	
	費用	人件費	2,302,882,200	2,273,247,211	29,634,989
		事業費	383,163,757	384,278,409	-1,114,652
事務費		619,097,496	604,478,051	14,619,445	
就労支援事業費用		185,009,349	185,006,526	2,823	
利用者負担軽減額		292,008	109,919	182,089	
減価償却費		128,662,079	124,604,226	4,057,853	
国庫補助金等特別積立金取崩額		-69,359,090	-64,930,110	-4,428,980	
徴収不能引当金繰入		67,194	356,496	-289,302	
サービス活動費用計(2)		3,549,814,993	3,507,150,728	42,664,265	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-87,489,038	-93,920,854	6,431,816		
サービス活動外の増減の部	収益	受取利息配当金収益	71,752	44,094	27,658
		その他のサービス活動外収益	41,955,277	51,335,015	-9,379,738
		サービス活動外収益計(4)	42,027,029	51,379,109	-9,352,080
	費用	その他のサービス活動外費用	1,584,021	2,100,998	-516,977
		サービス活動外費用計(5)	1,584,021	2,100,998	-516,977
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	40,443,008	49,278,111	-8,835,103		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	-47,046,030	-44,642,743	-2,403,287		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	72,557,638	25,881,840	46,675,798
		固定資産売却益		36,240	-36,240
		その他の特別収益	24,047,762	56,782,288	-32,734,526
		特別収益計(8)	96,605,400	82,700,368	13,905,032
	費用	固定資産売却損・処分損	88,049	11,394	76,655
		国庫補助金等特別積立金積立額	72,557,638	25,791,480	46,766,158
		その他の特別損失	31,573,576	71,663,527	-40,089,951
特別費用計(9)	104,219,263	97,466,401	6,752,862		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-7,613,863	-14,766,033	7,152,170		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-54,659,893	-59,408,776	4,748,883		
増減繰越額の活動の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,172,434,013	1,280,139,789	-107,705,776	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,117,774,120	1,220,731,013	-102,956,893	
	その他の積立金取崩額(15)	13,110,000	860,000	12,250,000	
	その他の積立金積立額(16)	57,160,000	49,157,000	8,003,000	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)+(16)	1,073,724,120	1,172,434,013	-98,709,893	

コロナ禍の熱中症対策

七月に入り梅雨明けが待ち遠しいですね。夏の到来とともに気をつけなくては

いけないのが熱中症。体内の水分や塩分のバランスが崩れる事で体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇やめまい、体のだるさ、ひどい時にはけいれんなどの症状を引き起こします。家の中にいても室温や湿度が高いため体から熱が逃げにくく、熱中症の恐れがあります。



豆知識

①屋外で2m以上離れているときはマスクを外す。

②涼しい服装、日傘や帽子で暑さを避ける。

③こまめな水分摂取（喉が渴いたと感じる前に水分をとる）

④部屋の温度に注意してエアコンや扇風機の活用、こまめな換気。

⑤熱中症警戒アラートの発令中は外出をできるだけ控え暑さを避ける等です。

感染対策・熱中症対策をとり、暑い夏をみんなで乗り切っていきたいと思っています。

東京消防庁の熱中症対策リーフレットによると、熱中症による救急搬送は毎年四万人以上へのぼり、特に梅雨明け前後の暑さに注意が必要です。最近ではコロナ禍ということ



後援会のお知らせ

「後援会ご入会のお願い」後援会では利用者の皆様の生活の充実を図るために活動しております。

皆様からいただいた会費は、法人本部の花壇や植栽の整備、福祉車両や大型テレビの購入

このコーナーは、普段は目に留まりにくい「素敵なもの」を紹介するコーナーです。

当法人の福祉工場しながらのパン工房プチレーブでは毎月期間限定でパンフェアを開催しているのをご存じでしたか？

障害のある従業員と職員で、旬の食材や季節などのテーマにあわせたアイデアを持ち寄って、実際に作り試食。そしてさらに試行錯誤を重ね、パンフェアに並べる商品を作っています。

等法人が運営する事業等で使用しております。

また、後援会の事業の募金箱の設置もお願いしております。

会費・月額一口三百円 一年分三千六百円となります。

後援会事務局・地域福祉課 電話・〇三ー三七九〇ー四八三九

ます。

美味しいものはそれだけで人を幸せにします。販売するパンの魅力をお伝えするポスター制作も毎月趣向を凝らしています。

フェア用のパンはその期間限定のものなので、是非お見逃しなく！パンフェアの開催日はご確認の上おいでください。



旬の食材を使ったパンフェアをどうぞお楽しみに！